

イラク世論調査（イラク 2018 年）単純集計

科学研究費補助金（基盤研究（B））

課題番号 15H03308

「世論調査による中東地域の政治文秩序と変革の実証的研究」

山尾大(九州大学大学院比較社会文化研究院・准教授)

(2018年5月)

I 目的

イラク世論調査(2018年)は、イラク人を対象とした世論調査の実施および調査結果の集計・計量分析を通じて、イラク人の政治・社会・経済状況や政党支持を理解することを主たる目的とする。

II 協力機関

調査実施にあたっては、質問票の内容の最終調整、サンプリング、面接対象者への聴取、データ入力などにおいて、バグダード大学文学部社会学科副学科長のサラーム・アバーディー教授、バグダード大学文学部歴史学科のマフムード・カイスィー教授の全面協力を得た。

III 世論調査の方法

1. 調査日程

- 2017年11月2日、山尾が質問票草稿(初稿)を作成。
- 2017年11月3～2018年1月10日、バグダード大学との折衝を経て質問票決定稿完成。
- 2018年1月11日～1月30日まで、イラク国内で質問票を用いた調査員のトレーニング実施。
- 2018年2月1日～3月23日、調査実施。
- 2018年4月20日、データ入力完了。

2. 調査対象者

- イラク国に在住する18歳以上のイラク国民男女合計1000人。

3. 調査手法

- アラビア語、クルド語による個別訪問面接聴取法。
- 調査員合計11人で、事前にバグダード大学で調査のトレーニングを行う。

4. 標本抽出方法

- 以下の手順でイラク戦略研究所がサンプルを抽出。
 - ①2011年のイラク統計局のセンサスをもとに、サンプルを県別に配分した。特に、民族と宗派の配分が、人口比に比例するように抽出した。

② 層化無作為抽出法、エリア・サンプリング。

- 1000 人から回答を得るまで、2186 人に面接した。具体的なサンプリングは以下の通り。

サンプリング

県名		民族と宗派/宗教						合計
		スンナ派 アラブ人	シーア派 アラブ人	キリスト教徒	クルド人	その他	回答拒否	
イルビール	人数	0	0	3	60	4	3	70
	割合(%)	0.0	0.0	4.3	85.7	5.7	4.3	100
スライマーニー ヤ	人数	0	0	0	61	9	0	70
	割合(%)	0.0	0.0	0.0	87.1	12.9	0.0	100
キルクーク	人数	16	18	3	10	2	1	50
	割合(%)	32.0	36.0	6.0	20.0	4.0	2.0	100
サラフッディーン	人数	31	26	1	0	0	12	70
	割合(%)	44.3	37.1	1.4	0.0	0.0	17.1	100
ディヤーラー	人数	9	11	0	0	0	40	60
	割合(%)	15.0	18.3	0.0	0.0	0.0	66.7	100
アンバール	人数	27	0	0	0	42	11	80
	割合(%)	33.8	0.0	0.0	0.0	52.5	13.8	100
バグダード	人数	77	196	2	25	9	71	380
	割合(%)	20.3	51.6	0.5	6.6	2.4	18.7	100
ナジャフ	人数	0	78	0	0	0	2	80
	割合(%)	0.0	97.5	0.0	0.0	0.0	2.5	100
バスラ	人数	21	94	1	0	0	24	140
	割合(%)	15.0	67.1	0.7	0.0	0.0	17.1	100
合計	人数	181	423	10	156	66	164	1000
	割合(%)	18.1	42.3	1.0	15.6	6.6	16.4	100

	人数	割合(%)
都市部	818	81.8
郊外	182	18.2
合計	1000	100

世論調査結果

1. 次のステートメントについて、あなたはどの程度同意しますか。

	1. 強く同意する	2. 同意する	3. どちらとも言えない	4. あまり同意しない	5. まったく同意しない	6. 分からない	合計
1-1. 2003年の政治変動によって、政治状況が改善された							
人数	125	224	146	216	206	83	1000
割合(%)	12.5	22.4	14.6	21.6	20.6	8.3	100
1-2. 2003年の政治変動によって、社会の状況が改善された							
人数	94	244	174	216	201	71	1000
割合(%)	9.4	24.4	17.4	21.6	20.1	7.1	100
1-3. 現在と比べて、3年後には政治の状況が改善されている							
人数	129	141	201	162	171	196	1000
割合(%)	12.9	14.1	20.1	16.2	17.1	19.6	100
1-4. 現在と比べて、3年後には社会の状況が改善されている							
人数	131	150	191	160	157	211	1000
割合(%)	13.1	15.0	19.1	16.0	15.7	21.1	100
1-5. 2003年以降の民主主義と自由の獲得を誇りに思う							
人数	192	150	268	163	170	57	1000
割合(%)	19.2	15.0	26.8	16.3	17.0	5.7	100
1-6. イラクが古代メソポタミア文明の発祥の地であることを誇りに思う							
人数	628	167	107	33	31	34	1000
割合(%)	62.8	16.7	10.7	3.3	3.1	3.4	100
1-7. イラクが預言者と正統カリフの地であったことを誇りに思う							
人数	706	172	71	24	12	15	1000
割合(%)	70.6	17.2	7.1	2.4	1.2	1.5	100
1-8. イラクが様々な宗教や民族、宗派の共存地であったことを誇りに思う							
人数	693	183	64	25	19	16	1000
割合(%)	69.3	18.3	6.4	2.5	1.9	1.6	100

2. あなたは以下のイデオロギーをどの程度支持しますか。

	1. とても支持する	2. 支持する	3. どちらとも言えない	4. あまり支持しない	5. まったく支持しない	6. 分からない	合計
6-1. アラブ民族主義							
人数	435	203	155	88	86	33	1000
割合(%)	43.5	20.3	15.5	8.8	8.6	3.3	100
6-2. イラク国民主義							
人数	592	236	81	31	41	19	1000
割合(%)	59.2	23.6	8.1	3.1	4.1	1.9	100
6-3. クルド民族主義							
人数	225	203	289	143	105	35	1000
割合(%)	22.5	20.3	28.9	14.3	10.5	3.5	100
6-4. イスラーム主義							
人数	348	186	188	153	95	30	1000
割合(%)	34.8	18.6	18.8	15.3	9.5	3.0	100
6-5. 自由主義(リベラリズム)							
人数	217	137	201	115	174	156	1000
割合(%)	21.7	13.7	20.1	11.5	17.4	15.6	100
6-6. 部族主義							
人数	112	65	185	179	354	105	1000
割合(%)	11.2	6.5	18.5	17.9	35.4	10.5	100

3-1. イラクの政治社会的安定の実現のために最も重要だと思う政策を一つ選んでください。

政策	人数	割合(%)
3-1-1. イラク国民主義にもとづく国民統合の強化	331	33.1
3-1-2. イスラーム主義の強化にもとづく国民統合の強化	71	7.1
3-1-3. 古代メソポタミア文明の歴史・遺産にもとづく国民統合の強化	69	6.9
3-1-4. 宗派間の融和にもとづく国民統合	146	14.6
3-1-5. 自由と民主主義の強化	94	9.4
3-1-6. イラク社会を構成する集団間の社会的正義にもとづく国民統合	289	28.9
合計	1000	100

3-2-1. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-1-1. もともとイラク国民主義が定着しており、その再建が必要だから	140	42.3
3-2-1-2. イラク国民主義がないとイラクが分裂するから	55	16.8
3-2-1-3. イラク国民主義がないと武力紛争が発生するから	45	13.6
3-2-1-4. イラク国民主義以外には人々をまとめる手段がないから	91	27.5
合計	331	100

3-2-2. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-2-1. イラク人はもともとイスラーム主義の意識が強いから	27	38.0
3-2-2-2. イスラーム主義への意識がないとイラクの分裂が深まるから	17	23.9
3-2-2-3. イスラーム主義への意識がないと武力紛争が発生するから	9	12.7
3-2-2-4. イスラーム主義への意識以外には人々をまとめる手段がないから	18	25.4
合計	71	100

3-2-3. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-3-1. 古代メソポタミア文明はイラクが最も誇れるものだから	33	47.8
3-2-3-2. 過去数十年間、イラクの統合の核となってきたのが古代メソポタミア文明だったから	3	4.3
3-2-3-3. 古代メソポタミア文明がなければイラクが分裂するから	9	13.0
3-2-3-4. 古代メソポタミア文明がなければ武力紛争が発生するから	10	14.5
3-2-3-5. 古代メソポタミア文明しか人々をまとめる手段がないから	14	20.3
合計	69	100

3-2-4. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-4-1. イラクにはもともと宗派対立などなかったから	41	28.1
3-2-4-2. 宗派対立が促進すれば、イラクの分断が進むから	35	24.0
3-2-4-3. 宗派対立は武力紛争を引き起こすから	35	24.0
3-2-4-4. 宗派対立を乗り越える以外に人々をまとめる手段はないから	35	24.0
合計	146	100

3-2-5. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-5-1. 自由や民主主義はイラク人が勝ち取ったものだから	15	16.0
3-2-5-2. 自由や民主主義がなければイラクの分断が促進されるから	22	23.4
3-2-5-3. 自由や民主主義がなければ武力紛争が発生するから	23	24.5
3-2-5-4. 自由や民主主義以外に人々を国民としてまとめることができるものがないから	34	36.2
合計	94	100

3-2-6. その政策を支持する理由を教えてください

政策	人数	割合(%)
3-2-6-1. 社会正義はイラク人の権利と義務のバランスをとる手段だから	147	50.9
3-2-6-2. 社会正義がなければ社会の対立や治安の悪化が促進されるから	57	19.7
3-2-6-3. 社会正義は宗教権力や部族権力よりも法的権力を強化するから	85	29.4
合計	289	100

3-3-1. 以下の政策は、あなたにとってどの程度重要だと思いますか。

	1. とても重要	2. 重要	3. どちらとも言えない	4. あまり重要でない	5. 全く重要でない	6. 分からない	合計
3-3-1-1. バグダードの中央政府の権限を強化した集権的な統一国家の強化							
人数	639	143	77	57	51	33	1000
割合(%)	63.9	14.3	7.7	5.7	5.1	3.3	100
3-3-1-2. 地方分権にもとづく連邦制の確立							
人数	273	205	172	140	148	62	1000
割合(%)	27.3	20.5	17.2	14.0	14.8	6.2	100
3-3-1-3. 宗派や民族ごとの地方分権(事実上の自治政府の形成)							
人数	175	97	127	125	436	40	1000
割合(%)	17.5	9.7	12.7	12.5	43.6	4.0	100
3-3-1-4. 連邦政府とクルディスタン地域政府のあいだの係争地の帰属や石油利権、給与支払いなどの問題の解決							
人数	343	270	132	65	147	43	1000
割合(%)	34.3	27.0	13.2	6.5	14.7	4.3	100
3-3-1-5. クルディスタン地域政府の独立							
人数	214	88	150	113	395	40	1000
割合(%)	21.4	8.8	15.0	11.3	39.5	4.0	100
3-3-1-6. 旧体制派との国民対話を通じた和解の実現							
人数	227	224	224	111	150	64	1000
割合(%)	22.7	22.4	22.4	11.1	15.0	6.4	100
3-3-1-7. 旧体制派の廃除							
人数	250	108	246	158	158	80	1000
割合(%)	25.0	10.8	24.6	15.8	15.8	8.0	100
3-3-1-8. 財政・行政汚職問題の解決と福祉や社会保障の充実							
人数	784	127	33	18	15	23	1000
割合(%)	78.4	12.7	3.3	1.8	1.5	2.3	100

3-3-2. 以上の政策のなかで重要だと思うものから順に3つ上げてください。

一番目に重要

政策	人数	割合(%)
バグダードの中央政府の権限を強化した集権的な統一国家の強化	479	47.9
地方分権にもとづく連邦制の確立	62	6.2
宗派や民族ごとの地方分権(事実上の自治政府の形成)	36	3.6
連邦政府とクルディスタン地域政府のあいだの問題の解決	70	7.0
クルディスタン地域政府の独立	115	11.5
旧体制派との国民対話を通じた和解の実現	33	3.3
旧体制派の廃除	25	2.5
財政・行政汚職問題の解決と福祉や社会保障の充実	180	18.0
合計	1000	100

二番目に重要

政策	人数	割合(%)
バグダードの中央政府の権限を強化した集権的な統一国家の強化	126	12.6

地方分権にもとづく連邦制の確立	144	14.4
宗派や民族ごとの地方分権(事実上の自治政府の形成)	76	7.6
連邦政府とクルディスタン地域政府のあいだの問題の解決	174	17.4
クルディスタン地域政府の独立	72	7.2
旧体制派との国民対話を通じた和解の実現	94	9.4
旧体制派の廃除	90	9.0
財政・行政汚職問題の解決と福祉や社会保障の充実	224	22.4
合計	1000	100

三番目に重要

政策	人数	割合(%)
バグダードの中央政府の権限を強化した集権的な統一国家の強化	78	7.8
地方分権にもとづく連邦制の確立	135	13.5
宗派や民族ごとの地方分権(事実上の自治政府の形成)	74	7.4
連邦政府とクルディスタン地域政府のあいだの問題の解決	175	17.5
クルディスタン地域政府の独立	69	6.9
旧体制派との国民対話を通じた和解の実現	90	9.0
旧体制派の廃除	107	10.7
財政・行政汚職問題の解決と福祉や社会保障の充実	271	27.1
合計	1000	100

4. イラクは多くの国の政治的介入に曝されています。あなたは以下の国の外部介入をどの程度なくすべきだと思いますか。

	1. 完全に停止すべき	2. 停止すべき	3. どちらとも言えない	4. 停止すべきでない	5. 絶対に停止すべきでない	6. 分からない	合計
4-1. 米国							
人数	688	84	78	77	49	24	1000
割合(%)	68.8	8.4	7.8	7.7	4.9	2.4	100
4-2. ロシア							
人数	671	96	114	69	21	29	1000
割合(%)	67.1	9.6	11.4	6.9	2.1	2.9	100
4-3. 英国							
人数	629	89	113	100	40	29	1000
割合(%)	62.9	8.9	11.3	10.0	4.0	2.9	100
4-4. フランス							
人数	600	74	171	90	30	35	1000
割合(%)	60.0	7.4	17.1	9.0	3.0	3.5	100
4-5. サウジアラビア							
人数	731	80	78	52	36	23	1000
割合(%)	73.1	8.0	7.8	5.2	3.6	2.3	100
4-6. トルコ							
人数	764	79	58	39	46	14	1000
割合(%)	76.4	7.9	5.8	3.9	4.6	1.4	100
4-7. イラン							
人数	843	60	50	19	16	12	1000
割合(%)	84.3	6.0	5.0	1.9	1.6	1.2	100
4-8. カタル							
人数	799	70	85	15	14	17	1000
割合(%)	79.9	7.0	8.5	1.5	1.4	1.7	100
4-9. UAE							
人数	690	71	116	77	21	25	1000
割合(%)	69.0	7.1	11.6	7.7	2.1	2.5	100

5-1. 以下の政党連合をどの程度支持しますか、1～10のあいだで教えてください。1は「まったく支持しない」、10は「非常に強く支持する」を意味します。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
5-1-1. 法治国家同盟(マーリキー派)											
人数	694	57	32	26	49	17	14	13	9	89	1000
割合	69.4	5.7	3.2	2.6	4.9	1.7	1.4	1.3	0.9	8.9	100
5-1-2. 法治国家同盟(アバーディー派)											
人数	518	63	50	55	84	31	39	43	28	89	1000
割合	51.8	6.3	5.0	5.5	8.4	3.1	3.9	4.3	2.8	8.9	100
5-1-3. ムワートン同盟(ISCI)											
人数	773	84	29	22	36	13	11	6	7	19	1000
割合	77.3	8.4	2.9	2.2	3.6	1.3	1.1	0.6	0.7	1.9	100
5-1-4. 国民知恵同盟(A.ハキーム派)											
人数	760	77	29	25	40	16	16	10	7	20	1000
割合	76.0	7.7	2.9	2.5	4.0	1.6	1.6	1.0	0.7	2.0	100
5-1-5. 解放同盟(サドル派)											
人数	631	53	44	38	70	49	37	19	8	51	1000
割合	63.1	5.3	4.4	3.8	7.0	4.9	3.7	1.9	0.8	5.1	100
5-1-6. ムッタヒドゥーン(ヌジャイフィー派)											
人数	723	55	50	24	40	35	31	16	8	17	1000
割合	72.3	5.5	5.0	2.4	4.0	3.5	3.1	1.6	0.8	1.7	100
5-1-7. アラビーヤ(ムトラク派)											
人数	756	71	43	26	36	19	13	12	5	19	1000
割合	75.6	7.1	4.3	2.6	3.6	1.9	1.3	1.2	0.5	1.9	100
5-1-8. ワタニーヤ(アッラーウィー派)											
人数	609	39	46	45	57	33	37	46	34	54	1000
割合	60.9	3.9	4.6	4.5	5.7	3.3	3.7	4.6	3.4	5.4	100
5-1-9. イラク同盟(ジュブリー派)											
人数	736	65	34	42	43	21	18	12	8	21	1000
割合	73.6	6.5	3.4	4.2	4.3	2.1	1.8	1.2	0.8	2.1	100
5-1-10. KDP											
人数	778	31	24	27	38	20	19	20	8	35	1000
割合	77.8	3.1	2.4	2.7	3.8	2.0	1.9	2.0	0.8	3.5	100
5-1-11. PUK											
人数	764	47	25	29	40	17	20	16	12	30	1000
割合	76.4	4.7	2.5	2.9	4.0	1.7	2.0	1.6	1.2	3.0	100
5-1-12. ゴラーン											
人数	742	30	28	38	45	22	20	21	20	34	1000
割合	74.2	3.0	2.8	3.8	4.5	2.2	2.0	2.1	2.0	3.4	100
5-1-13. アーシー率いる連合(人民動員隊)											
人数	650	35	27	42	67	30	29	12	18	90	1000
割合	65.0	3.5	2.7	4.2	6.7	3.0	2.9	1.2	1.8	9.0	100

5-2. あなたが支持する政党を一つ選んでください。

政党・組織	人数	割合(%)
5-2-1. 法治国家同盟(マーリキー派)	116	11.6
5-2-2. 法治国家同盟(アバーディー派)	198	19.8
5-2-3. ムワートン同盟(ISCI)	11	1.1
5-2-4. 国民知恵同盟	25	2.5
5-2-5. 解放同盟(サドル派)	104	10.4
5-2-6. フェタハ	51	5.1
5-2-7. ムッタヒドゥーン(ヌジャイフィー派)	37	3.7
5-2-8. アラビーヤ(ムトラク派)	27	2.7

政党・組織	人数	割合(%)
5-2-9. ワタニーヤ(アッラーウィー派)	144	14.4
5-2-10. イラク同盟(ジュブリー派)	23	2.3
5-2-11. KDP	49	4.9
5-2-12. PUK	33	3.3
5-2-13. ゴラーン	59	5.9
5-2-14. その他	97	9.7
欠損	26	2.6
合計	1000	100

5-3 その政党を支持する理由を選んでください

理由	人数	割合(%)
5-3-1. 指導者	234	23.4
5-3-2. 政策	332	33.2
5-3-3. 汚職のなさ	144	14.4
5-3-4. 民族、宗派、部族	83	8.3
5-3-5. イデオロギー(党是)	182	18.2
欠損	25	2.5
合計	1000	100

5-3-1. 1を選んだ回答者に対して

理由	人数	割合(%)
5-3-1-1. 指導者の名前(家名/ラカブ)が重要だから	63	26.9
5-3-1-2. 指導者の学歴が高い方が良いから	25	10.7
5-3-1-3. 指導者の社会的地位が高いから	30	12.8
5-3-1-4. 指導者と親族関係にあたり、知り合いであるから	12	5.1
5-3-1-5. 指導者が政権をとるとイラクの生活状況が改善するから	87	37.2
5-3-1-6. 指導者が自分と同じ出身だから(民族、宗教、宗派、部族)	17	7.3
合計	234	100

5-3-2. 2を選んだ回答者に対して

理由	人数	割合(%)
5-3-2-1. 国の役に立つから	213	64.2
5-3-2-2. 地元の役に立つから	30	9.0
5-3-2-3. 他の政党と比較して良いから	89	26.8
合計	332	100

5-3-3. 3を選んだ回答者に対して

理由	人数	割合(%)
5-3-3-1. 政党が汚職と無縁だから	64	44.4
5-3-3-2. 汚職との戦いの先頭に立っているから	80	55.6
合計	144	100

5-3-4. 4を選んだ回答者に対して

理由	人数	割合(%)
5-3-4-1. その政党が自らの出身を支援しているから	40	48.2
5-3-4-2. その政党の幹部の多くが自らの出身と同じだから	22	26.5
5-3-4-3. その政党が国内の様々な集団を包摂しているから	21	24.3
合計	83	100

5-3-5. 5を選んだ回答者に対して

理由	人数	割合(%)
5-3-5-1. その政党のイデオロギーが公共善の発展に寄与するから	40	48.2
5-3-5-2. その政党のイデオロギーが自らの習慣や伝統に馴染むから	22	26.5
5-3-5-3. その政党のイデオロギーが自らの民族や宗派に味方しているから	21	25.3
合計	83	100

6 明日選挙が行われるなら、どの政党に投票しますか。

政党・組織	人数	割合(%)
6-1. 法治国家同盟(マーリキー派)	77	7.7
6-2. 法治国家同盟(アバーディー派)	119	11.9
6-3. ムワートン同盟(ISCI)	5	0.5
6-4. 国民知恵同盟(A.ハキーム派)	20	2.0
6-5. 解放同盟(サドル派)	69	6.9
6-6. ファタハ	52	5.2
6-7. ムッタヒドゥーン(ヌジャイフィー派)	19	1.9
6-8. アラビーヤ(ムトラク派)	16	1.6
6-9. ワタニーヤ(アッラーウィー派)	109	10.9
6-10. イラク同盟(ジュブーリー派)	18	1.8
6-11. KDP	24	2.4
6-12. PUK	14	1.4
6-13. ゴラーン	31	3.1
6-14. 世俗主義政党	15	1.5
6-15. 共産党	13	1.3
6-16. 投票しない	99	9.9
6-17. その他	55	5.5
6-18. 分からない	246	24.6
合計	1000	100

スプリットサンプルで調査対象者を A, B, C の 3 グループに分ける。A と B には選挙動員に関連する質問を含め、C には質問を含めないものとする。つまり A と B は実験群、C は統制群である。

7-A. 次の状況をイメージしてください。選挙期間中に、あなたの支持政党から電話がかかってきました。「我が党が選挙で議席を増やすために投票に行ってもらいたい」と電話の相手は言っています。あなたは選挙で投票に行きますか。

行く/行かない	人数	割合(%)
7-A-1. 投票に行く	152	49.8
7-A-2. 投票に行かない	153	50.2
合計	305	100

7-B. 次の状況をイメージしてください。選挙期間中に、あなたの支持政党から電話がかかってきました。「敵対している政党が選挙で大きく議席を増やしそうだ、投票に行ってもらいたい」と電話の相手は言っています。あなたは選挙で投票に行きますか。

行く/行かない	人数	割合(%)
7-B-1. 投票に行く	105	32.7
7-B-2. 投票に行かない	216	67.3
合計	321	100

7-C. あなたは次の選挙で投票に行きますか。

行く/行かない	人数	割合(%)
---------	----	-------

7-C-1. 投票に行く	265	70.5
7-C-2. 投票に行かない	111	29.5
合計	376	100

人口統計学的質問

D1. 性別

性別	人数	割合(%)
男性	516	51.6
女性	484	48.4
合計	1000	100

D2. 年齢

年齢	人数	割合(%)
18歳	10	1.0
19歳	24	2.4
20歳	33	3.3
21歳	38	3.8
22歳	39	3.9
23歳	42	4.2
24歳	28	2.8
25歳	54	5.4
26歳	33	3.3
27歳	32	3.2
28歳	36	3.6
29歳	25	2.5
30歳	53	5.3
31歳	15	1.5
32歳	21	2.1
33歳	22	2.2
34歳	12	1.2
35歳	55	5.5
36歳	12	1.2
37歳	12	1.2
38歳	26	2.6
39歳	14	1.4
40歳	37	3.7
41歳	10	1.0
42歳	14	1.4
43歳	8	0.8
44歳	10	1.0
45歳	57	5.7
46歳	7	0.7
47歳	6	0.6
48歳	25	2.5
49歳	8	0.8
50歳	29	2.9
51歳	3	0.3
52歳	21	2.1

年齢	人数	割合(%)
53歳	8	0.8
54歳	9	0.9
55歳	18	1.8
56歳	7	0.7
57歳	2	0.2
58歳	18	1.8
59歳	5	0.5
60歳	17	1.7
61歳	3	0.3
62歳	1	0.1
63歳	2	0.2
64歳	5	0.5
65歳	6	0.6
66歳	7	0.7
67歳	1	0.1
68歳	11	1.1
69歳	4	0.4
71歳	1	0.1
72歳	1	0.1
73歳	1	0.1
75歳	1	0.1
76歳	1	0.1
合計	1000	100

D3. 最終学歴

最終学歴	人数	割合(%)
1. 低学歴(文盲)	24	2.4
2. 低学歴(読書可)	29	2.9
3. 小学校	44	4.4
4. 中学校	77	7.7
5. 高等学校	155	15.5
6. 専門学校	133	13.3
7. 大学生	172	17.2
8. 大学卒	303	30.3
9. 大学院	63	6.3
合計	1000	100

D4. 出生地

出生地	人数	割合(%)
バグダード	311	31.1
キルクーク	59	5.9
スライマーニーヤ	63	6.3
イルビール	73	7.3
アンバール	89	8.9
サラーフッディーン	80	8.0
ディヤラー	63	6.3
ナジャフ	89	8.9
バスラ	134	13.4
アマーラ	6	0.6
バービル	2	0.2
カルバラー	6	0.6
カーディスイーヤ	8	0.8

出生地	人数	割合(%)
ワースト	4	0.4
ドホーク	4	0.4
モスル	4	0.4
ナースイレーヤ	2	0.2
イラン	2	0.2
イエメン	1	0.1
合計	1000	100

D5. 母語

母語	人数	割合(%)
アラビア語	814	81.4
クルド語	164	16.4
カルデア語	5	0.5
トルコマーン語	16	1.6
その他	1	0.1
合計	1000	100

D6. 流暢に使える言語

流暢に使える言語	人数	割合(%)
英語	61	36.5
ドイツ語	5	3.0
トルコマーン語	14	8.4
トルコ語	4	2.4
クルド語	16	9.6
アラビア語	56	33.5
フランス語	3	1.8
ヒンディー語	1	0.6
ペルシア語	7	4.2
合計	167	100

流暢に使える言語	人数	割合(%)
英語	4	12.9
ドイツ語	2	6.5
ロシア語	1	3.2
トルコマーン語	5	16.1
トルコ語	1	3.2
クルド語	4	12.9
アラビア語	11	35.5
フランス語	1	3.2
ペルシア語	2	6.5
合計	31	100

流暢に使える言語	人数	割合(%)
英語	1	25.0
トルコマーン語	1	25.0
クルド語	2	50.0
合計	4	100

D7. 職種

職種	人数	割合(%)
1. 労働者	38	3.8
2. 国家公務員	355	35.5
3. 民間部門職員	182	18.2
4. 学生	179	17.9
5. 主婦	165	16.5
6. 失業者	47	4.7
7. 定年退職者	32	3.2
無回答	2	0.2
合計	1000	100

D8. 世帯の月収

世帯の月収	人数	割合(%)
1. US\$100 以下	205	20.5
2. US\$100～500	414	41.4
3. US\$500～1,000	210	21.0
4. US\$1,00～1,500	51	5.1
5. US\$1,500～2,000	26	2.6
6. US\$2,000 以上	13	1.3
回答拒否	81	8.1
合計	1000	100

D9. 民族・宗派

民族・宗派	人数	割合(%)
1. スンナ派アラブ人	181	18.1
2. シーア派アラブ人	423	42.3
3. キリスト教徒	10	1.0
4. クルド人	156	15.6
5. その他	66	6.6
回答拒否	164	16.4
合計	1000	100